

What's happening?

日本で成長した私～日本、ありがとう!!

大学院先端技術科学教育部 環境創生工学専攻
生命テクノサイエンスコース 博士後期課程1年

Nor Ismaliza Binti Mohd Ismail

ノール イスマリザ ビンティ モハマド イスマイル [マレーシア]

留学生というのは母国を離れ見知らぬ土地で勉強する学生のことです。私も他の留学生の皆さんと同じ目的で日本に留学しています。将来は、興味ある日本語や日本の文化などを活かしていつか形にしようと思っていて来日してから、もう6年が過ぎました。

今、振り返って見ると色々な出来事がありました。来たばかりの時の寂しさ、苦しさや生活の困難など今でも覚えています。そして、この6年間は、勉強のことばかりではなく、たくさんの方々と出会い、その中で感動や経験したことがたくさんあります。すべての貴重な体験が神様から与えた奇跡だと信じて、自分は成長したなと思いました。

私は2001年にマレーシア政府派遣留学生として来日しました。留学して最初の頃には言語、文化、天気の違いに慣れないせいで大学の授業が理解できなかったり、回りの方々とコミュニケーションをきちんと取れなかったり、日本での生活を辛く感じました。

その時は不安な気持ち一杯ありましたが、先生方、友達、知り合いの方々の暖かいサポートをいただき、そのような苦難をやっと乗り越えました。その時から、安心感を持てるようになり、勉強や日本の生活が楽しくなりました。今ではどんな環境でも、どんな困難なことになっても、きっと乗り越えられると自信が付いています。

学部3年生の春休みにマレーシアに帰国して、結婚しました。そして、主人を日本に連れてきて、その時から二人の生活を始め、私の人生は大きく変わりました。自分のことより二人のことを考え、何でもお互いに協力し合っています。

2年後、新たな奇跡が起きました。私たちの長男が誕生して、家族が一人増えました。出産の辛さを初めて理解でき、その痛みは何より痛いと思いますが、生まれてきてくれた我が子を見ると、何より感動や喜びを感じました。言葉にできないほど、一生忘れない瞬間です。

しかし、女性として私はさらに責任を重く感じています。人の妻から新しい命を預かるお母さんになり、子育てが最初は無理だと思いました。

最初の頃は不安で一杯でした。しかし、少しずつ子育てのことを学び、そして実際に体験して、だんだん慣れてきました。完璧なお母さんになれないかもしれないけれど、できるかぎり我が子を大切に育てていきたいと考えます。子育てを自ら体験した今、改めてお母さんの偉大さを



しみじみと感じています。

私は、自分の26年間の人生で奇跡は何回も起こったと信じています。でも、私は奇跡をただ座ったままで待っていたのではなく、自分でその与えられた奇跡を掴みに行きました。私の奇跡は別の言い方でいうと「チャンス」といいます。どんなことでもやればできるかもしれない、やらなければ何もできないと私はいつもそう思っています。

これからも日本で残された時間を大切に、人生の貴重な体験を重ね、子育てと学業を両立できるように頑張りたいです。そして、有意義な人生を送り、社会に貢献

できる人間になりたいと思っています。

